令和　　年（家イ）第　　号

進行に関する照会回答書（申立人用）

この書類は，調停を進めるための参考にするものです。あてはまる事項にチェックをつけ（複数可），必要事項を記入の上，申立書とともに提出してください。

なお，この書類は，閲覧・謄写の対象とはしない取扱いになっています。

1　この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	□　ある。（そのときの相手方の様子にチェックしてください。） □ 感情的で話し合えなかった。　□ 冷静であったが，話合いはまとまらなかった。 □ 態度がはっきりしなかった。　□ その他（　　） □　ない。（その理由をチェックしてください。） □ 全く話合いに応じないから。　□ 話し合っても無駄だと思ったから。 □ その他（　　）
2　相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	□　応じると思う。 □　応じないと思う。 □　分からない。 （理由等があれば，記入してください。）
3　調停での話合いは円滑に進められると思いますか。	□　進められると思う。 □　進められないと思う。 □　分からない。 （理由等があれば，記入してください。）
4　この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	□　伝えた。 □　伝えていない。 □ すぐ知らせる。　□ 自分からは知らせるつもりはない。　□ 自分からは知らせにくい。
5　相手方の暴力等がある場合には，記入してください。	1　相手方の暴力等はどのような内容ですか。 □大声で怒鳴る・暴言をはく。　□物を投げる。　□殴る・蹴る。　□凶器を持ち出す。 （1）それはいつ頃のことですか。　　頃から　　まで （2）頻度はどのくらいですか。　　回 2　相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 □ない。　□ある。（ケガや症状等の程度　　） 3　配偶者暴力に関する保護命令について，該当するものをチェックしてください。 □申し立てる予定はない。　□申し立てる予定である。 □申し立てたが，まだ結論はでていない。　□申し立てたが，認められなかった。 □認められた。　※保護命令書の写しを提出してください。 4　裁判所の調停時の相手方の対応について □裁判所では暴力をふるう心配はない。　□申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 □暴力をふるう心配がある。　□裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 □刃物を持ち込むおそれがある。　□薬物，アルコール類を摂取してくるおそれがある。
6　心療内科等への通院歴はありますか。	申立人　□ない。　□ある。（病名，通院時期等：　　） 相手方　□ない。　□ある。（病名，通院時期等：　　）
7　調停期日の差し支える曜日等があれば書いてください。 **※　調停は右のとおり平日の午前または午後に行われます。**	高　松：月・火・水・木 丸　亀：火・金 観音寺：月・木 土　庄：火（第２・第４） 申立人の差し支える曜日：　曜日　午前・午後 （すでに差し支えることがわかっている日→　　） 理由： 相手方の差し支える曜日：　曜日　午前・午後 （※わからなければ記載しなくてもかまいません。）
8　調停期日の終了時に，双方立会いのもと進行等の確認をすることについて	※双方立会いを含む調停の進め方の詳細については，「調停を申し立てる方へ」の「調停の進め方について」の項をご覧ください。 □　差し支えない。 □　差し支える。　（理由：　　）
9　裁判所に配慮を求めることがあれば記入してください。	（例：耳が聞こえづらい。車椅子で行きます。）

令和　　年　　月　　日　　申立人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印